

学校教育目標
 学ぶ意欲と豊かな心を身に付けた、
 たくましい子どもの育成

情報教育の目標	
情報活用能力を身に付け、情報社会を主体的に生きる子どもの育成	
重点目標	①課題や目的に応じてインターネットやテレビ、図書などのメディアを適切に活用し、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理したり、相手に合わせて情報を効果的に発信したり交流したりできる。 【情報活用の実践力】 ②いろいろなメディアの特性を理解し、情報を正しく判断して適切に扱うことができる。【情報の科学的な理解】 ③社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの大切さや関連する社会的なルールやマナーを理解した行動をとることができる。【情報社会に参画する態度】

学年別重点目標	
1・2年	①コンピュータや図書室の本などを活用し、必要な情報を進んで調べたり、紙面やお絵かきソフトを使って表現したりできる。 ②コンピュータやデジタルカメラなどの情報機器に親しみ、生活や学習の道具として使うことができる。 ③身のまわりの情報にはまちがった情報やその情報があることや、電話番号などの個人情報が悪用される危険性があることを知り、自分や他人の個人情報を大切にできる。
3・4年	①インターネットや図書室の本などを活用し、必要な情報を進んで調べたり、ワープロソフトやグループウェアを使って表現したり交流したりできる。 ②コンピュータやインターネットを生活や学習の道具として使い、それによって得られる情報を正しく理解することができる。 ③セキュリティの必要性、自己管理の重要性、インターネットの利用などに潜む危険などを理解するとともに、ユーザー名やパスワードを使ってコンピュータを利用する習慣を身に付けたり、個人情報の保護や著作権の尊重への配慮が必要なことを理解する。
5・6年	①様々な情報手段を活用し、必要な情報を進んで調べたり、目的に応じて様々な基本ソフトや周辺機器を使って、適切に表現できる。 ②コンピュータやインターネットの特性を理解し、生活や学習活動において得た情報を正しく活用することができる。 ③ネット社会の光と影への理解を深めるとともに、電子メール・掲示板等の利用を通して、人権や著作権などの尊重が重要であることを理解し、適切な情報モラルを身に付ける。

各教科・領域等における情報教育の重点目標	
各教科	国語 目的や内容に応じて情報を収集し、取捨選択したり内容を要約したりして、自分の考えをまとめ、適切に表現する力を高める。 社会 社会的事象に関するデジタル化された資料の活用やインターネットを利用した調べ学習などを通して社会生活についての理解を深める。 算数 デジタル教材や機器を活用して数量や図形についての感覚を豊かにし、表現する力を高める。 理科 観察や実験を通してデータや情報を収集し、集計・処理・グラフ化を通して科学的な思考力を養う。 図画工作 コンピュータやデジタルカメラなどを使った創造的な造形活動を行い、発想や構想などの能力を育成する。 音楽 臨場感のある映像と音楽による鑑賞を行い、音楽のよさや美しさを味わう能力を伸ばす。 家庭科 消費者として正確な情報を収集・処理し判断するなど、情報を適切に活用する能力を伸ばす。 体育 デジタルコンテンツを利用した実技指導やデジタル化された資料を活用した保健指導を行い、理解を深める。 生活 身近な人々、社会及び自然との関わりを様々な情報を適切に使って直接的間接的に交流し、自立への基礎を養う。
道徳	・日常生活における道徳的価値の理解を図るとともに、情報社会の特性に対応した情報モラルの理解を図り、日常生活と共通する道徳的な価値観を身に付けさせ、道徳的実践力の育成を図る。
特活	・学級活動、委員会活動、学校行事、クラブ活動の様々な活動における情報収集・整理等を行い、活動にプレゼンテーションなどの情報機器を利用し、より豊かな学習活動を行う。
総合	・多くの情報の中から必要な情報を収集・整理して活用することができ、責任ある発信ができる資質や能力を育てる。 ・目的に応じてコンピュータを操作したり、いろいろなソフトや情報機器を活用して、適切に表現できる。 ・情報化社会の光と影を知り、情報モラルの理解を深め、関連する社会的なルールやマナーを理解した行動をとることができる。

学習環境の整備

コンピュータ等の情報機器のメンテナンス・セキュリティ対策

家庭・地域との連携